

緑の相談所だより

[1月・2月・3月号 ~1989・12・22発行~]

行事案内

親子手作り教室 (竹を使った伝統的手法)	1/14 (日) 10:00~14:00	旭川緑の会 *教材費 実費 山野 照人 *昼食、道具持参	
冬の鉢物管理方法 ウメ、プリムラほか	1/21 (日) 10:00~12:00	旭川市緑の相談所 村田、小島 相談員	
観葉植物の管理方法 ゴムの木、カボックほか	2/18 (日) 13:00~15:00	旭川市緑の相談所 村田 正一 相談員	
親子ひな祭り パーティー・花飾り作り	2/25 (日) 10:00~12:00	フラワーショップ Rei *教材費 実費 鴨崎 礼子 *道具持参	
洋ランの咲かせ方 Q & A	3/11 (日) 13:00~15:00	キリンビール千歳工場 植物園係長 大野 徹男	
春先の庭木の管理 管理、庭仕事	3/18 (日) 13:00~15:00	旭川市緑の相談所 小島 博昭 相談員	
植物肥料、薬剤の選び方 使い方のポイント	3/25 (日) 13:00~15:00	武田園芸(株)東京本社 普及室長 望田 明利	

* 申込および問い合わせは、旭川市緑の相談所(65-5553)まで。

☆☆☆緑の相談所図書案内☆☆☆

原色 観葉植物写真集

原色 観葉植物写真集 Part 2

各 編集 (社)日本インドア・グリーン協会
発行 株式会社 誠文堂新光社

観葉植物の名前を調べて欲しいという相談をしばしば受けます。どんな植物でも正式な名前がわからなくては価値も半減してしまいます。今回ご紹介した本は豊富なカラー写真と詳しい説明でわかりやすいのが特徴です。他にも管理の仕方、観葉植物の生理のメカニズムなどの説明もあって、観葉植物を愛するあなたにとって大変お役に立つことでしょう。



セリ
その名は、迫り子迫り子と
ひしめきあって生えるから。

春の七草



ナズナ
ペンペン草のこと、
七草の代表。



オギョウ
ゴギョウという人がいるが誤り。
ホウコグサのこと、
ハハコグサともいう。

せり なずな おぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ これぞ七草



ホトケノザ 本名は田平子(たびらこ)とって田んぼに平たくはいつくばって生えるから。その様子が、仏様の圧る蓮台ににているから、ホトケノザというであろう。



ハコベのこと、小島の縁起。
昔はハコベ畑といって、風乾きにしたものに塩をまぜ、はみがき粉に使ったそう。

正月の七日、これらの春の七草を包丁の音も爽やかに木の香も新しいまな板の上できざみ、湯気の立ちのぼるお粥に入れてたきこむ七草粥は古くから伝わる正月の行事として何か心あたまるものがあります。

秋の七草が野辺に咲く美しい風情あるものを選んであるのに対し、この春の七草に選ばれた草々は、7種のうちの5種は、いわばそこらに生える草であり、2種は細で栽培される野菜です。

觀賞して美しいというものではありません。しかし、凍てつくような真冬の大地に根をおろし寒さにもめげず育つ、その強靱な性質にあやかってこれらを七草粥として年の初めに食し、今年一年、無病息災、元気にすごそうとした古人の考え方には、なるほどとうなずけるものがあります。

北海道では冬が厳しく長いので、あまりなじみのない曆上だけの行事に過ぎませんが、すずな(かぶ)、すずしろ(だいこん)は用意できると思いますので、にんじんの葉や他の野菜などで代用して寒い冬を元気に過ごされてはいかがでしょうか。



スズナ
カブの古名。



スズシロ
ダイコンの古名。

〇〇〇〇ハーブでひといき〇〇〇〇〇

<デリシャス・マサラ・ティー> インドの美味しいスパイスティー

使用するドライハーブと : 紅茶小さじ5、シナモンバグ(砕いて小さじ1)
そのほかの材料 : カルダモン2~3粒、クローブ2本、熱湯200cc
牛乳600cc、砂糖適量

鍋に牛乳を除く材料を入れ、弱火で5分ほど煮てから牛乳を加えて、ふきこぼれないようにわかします。これは甘めのほうがおいしく、疲れたときのリフレッシュ・ティーとして最高。寒い冬の夜は、ジンジャーのしほり汁を加えると、足先まで温まるすばらしいお茶です。

ワンポイント アドバイス

冬の室内園芸（観葉植物）

冬は植物にとっても厳しい季節です。①温度、②湿度、③日照、④水やり、⑤肥料など大切なことがあります。

植物は種類によってそれぞれ適した環境、管理がありますから、全部同じというわけにはいきませんが一般的なことについて話します。

①温度 — 近頃住宅が良くなったので室内の温度がかなり保つことができますが、問題は夜から朝方の最低温度です。最低温度が低いと日中暖かってもほとんど育ちません。最低温度5度くらいまでいいもの、10度くらいまでのもの、15度以上必要なものなど種類によって違いがあります。

最高温度はいくら高くても30度が限界です。20度～25度までの範囲におさえましょう。
*人間の感だけでは適切な温度がつかめません。できれば最高最低温度計を用意しましょう。

②湿度 — 暖房が入ると室内の空気の湿度がかなり低くなり植物が弱ってきます。できれば60%以上はほしいものです。乾燥を防ぐために1日2～3回は霧吹きで霧水をかけてやりましょう。

*植物ばかりでなく人間のためにもぜひ湿度計を用意しましょう。

③日当たり — 冬はどうしても日照不足になりがちです。ものによって日照の必要なもの、あまりなくてもいいものなどがあります。それぞれの性質に応じて置き場所を考えてやりましょう。

④水やり — 一般的には鉢土が乾いたら底から流れ出るくらいたっぷりやり、土の表面が乾くまでやりません。ものによってはもっと控え目にするものもあります。控え目というのは、水を少なくやるというのではなく、たっぷりやって土が乾いても、もう2～3日、ものによっては5～6日待つてやるということです。

サンスベリアなど寒さに弱いものは冬中水を与えず、葉が萎むくらい干しておくといものもあります。やり過ぎは根を弱らせたり耐寒力を弱くします。

⑤用肥料 — 新しい芽や葉が伸びているようなものには時々肥料をやりましょう。元気に育ちます。洋蘭や休眠しているもの、最低温度の低いところに置いたものにはやりません。根腐れをおこしますから。

冬の花ことば

梅 *** 高潔・忠実

中国から渡ってきたこの花は、中国にあこがれた昔の人の心とあいまって、万葉のころからたいへん広く愛されました。

“東風吹かば 匂いおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春な忘れそ、”
という菅原道真の歌は有名で、大宰府へ流された主人を慕って、梅が一夜にして九州に飛び移ったという「飛梅」の伝説が残っています。“忠実、という花ことばがうなずけるような逸話です。



～緑の相談とアドバイス～

- Q 1 鉢物の、受け皿に水をためておくとうよくないという理由を教えてください。
 Q 2 シクラメンの花が黄色くなって元気がありません。水は受け皿にたまるほど十分に与えています。どうして葉が傷み元気がなくなるのでしょうか。

A 鉢内に給水して流れ出た水を受け皿にためておくことはよくありません。理由は流れ出た水の中には不要となったものが含まれるためです。水に根がつっていると毛根が傷みやすく、鉢の温度が低くなるためです。毛根から菌が侵入して根全体を腐らせることがあります。根先が水につかっていると、酸素が不足するので根の伸びもよくありません。特に冬季間は注意が肝要なのです。

シクラメンは過湿をきらいます。過湿になると根の活動が悪くて生理障害も起こし、また元気がなくなるので他の病気（萎ちょう病、灰色かび病、斑点病）も出やすくなり、質問者のシクラメンは萎ちょう病にかかっているものと思われます。受け皿には水をためないこと、そして用土の過湿をさげ、ベンレート水和剤を散布することが必要です。

- Q 1 花が終わったシャコバサボテンのさし木のやり方と時期を教えてください。
 Q 2 シャコバサボテンの葉が伸び過ぎたので切りつめて仕立てなおしたいのです。その時に切った茎はさし木できるのでしょうか。

A 茎節（葉）が多くなり過ぎると先がたれさがって見苦しくなるので基部の節から5～6節目に花が咲くように仕立てるとよいでしょう。花が終わったら上部の茎節を2～3節切って取り、それをさし木するとよいのです。北海道の場合は冬季間暖房が十分なのでさし木するのはなるべく早いほうがよいでしょう。12月に花が終われば12月切ってさすことができます。普通3節で切るとさし木して、その苗が育って花期には5節にはなるので手頃な株で花が咲きます。

さし方は図の通りです。発根は室温が15度C以上保てると2～3週間で出始めます。根が少しでも出ればそのままハイポネックスの千倍液を与え、根をよく張らせてから3号鉢に鉢上げします。親株はそのまま油粕と骨粉の置肥を与えて育てます。新茎が伸び始めたらさらにハイポネックスの千倍液を与えて育てます。秋までには切り取った分だけ新しい茎節が伸びて花が咲きます。

さし木のとり方
3節でとるとよい

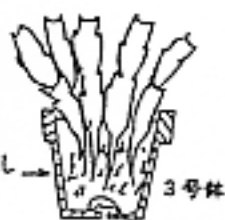


4～5本まとめて基部1節に
ミスゴケを巻いて鉢につける

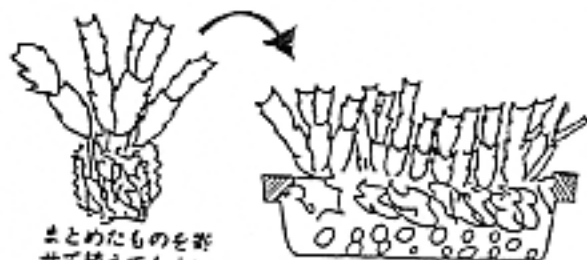


鉢は3号が適当

大入れき
川 砂) に



4～5本さし
てもよい 3号鉢



まとめたものを寄
せて植えてもよい

平鉢でミスゴケ植え